

N8180-81

SmartUPS用SNMPカード
(Network Management Card)

取扱説明書

お願い

製品をご使用になる前に本書を必ずお読みになり、注意事項をお守りください。
本書は、必要なときにすぐに見られるように保管してください。

商標について

EXPRESSBUILDER、および ESMPRO は日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft[®]、Windows[®]、Windows Server[®] は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat[®]、Red Hat Enterprise Linux[®] は、米国 Red Hat, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

VMware は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

オペレーティングシステムの表記について

本書では各オペレーションシステムを次のように略称で表記します。

Windows 10/11 Pro Standard と Windows 10/11 Pro for Workstations を

Windows 10/11 と表記します。

Windows Server 2016/2019/2022 Standard を

Windows Server 2016/2019/2022 と表記します。

Red Hat Enterprise Linux 6.9/6.10 (EM64T) /7.3 ~ 7.9/8.1 ~ 8.8/9.1 Server(x86_64) を

RHEL 6.9/6.10 (EM64T)、RHEL 7.3 ~ 7.9、RHEL 8.1 ~ 8.8、RHEL 9.1 と表記します。

VMware ESXi 7.0/8.0 を

ESXi 7.0/8.0 と表記します。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、
お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

使用上のご注意（必ずお読みください）

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。これらの注意を無視して、装置を使用した場合、本製品または資産（データやその他の装置）が破壊されるおそれがありますので必ずお守りください。

安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作してください。

このユーザーズガイドには本製品のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています（本体に印刷されている場合もあります）。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「危険」「警告」「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



危険

人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを示します。



警告







人が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを示します。



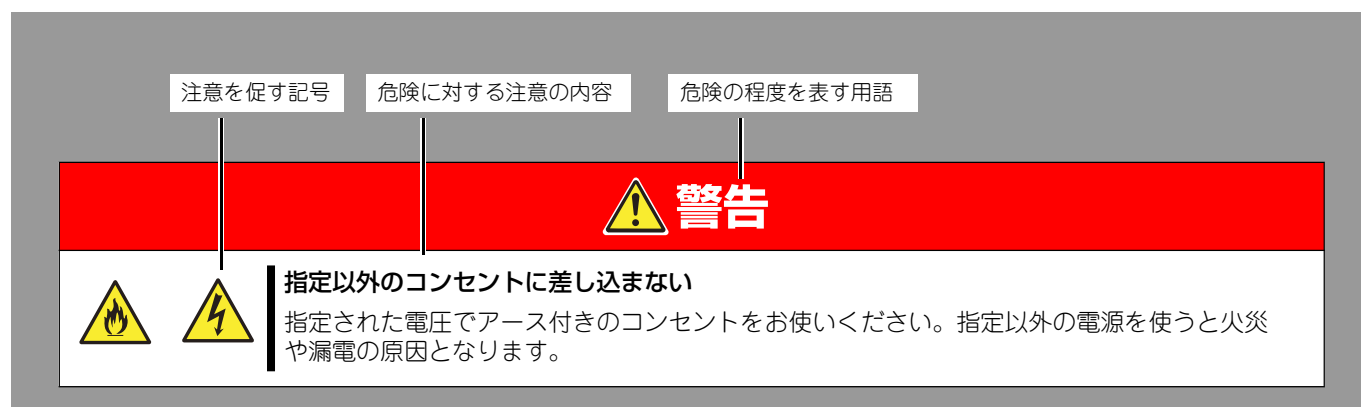
注意

人が傷害を負う可能性または物的被害のみが想定されることを示します。

危険に対する注意・表示は次の 3 種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。	(例)  (感電注意)
	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例)  (分解禁止)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例)  (プラグを抜く)

（ユーザーズガイドでの表示例）



本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	感電のおそれのあることを示します。		発煙または発火のおそれがあることを示します。
	特定しない一般的な注意・警告を示します。		

行為の禁止

	本製品を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		特定しない一般的な禁止を示します。
--	--------------------------------------	--	-------------------








行為の強制










	本製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
--	--

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活用ください。記号の説明については「安全にかかわる表示について（p.III）」の説明を参照してください。

全般的な注意事項

 警告	
	人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない 本製品は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みやこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本製品を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
 	煙や異臭、異音が生じたまま使用しない 万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源を OFF にして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。
  	自分で分解・修理・改造はしない 本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

 注意	
  	海外で使用しない 本製品は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。
  	装置内に水や異物を入れない 装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。
 	腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

⚠ 注意



指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

譲渡または売却時の注意について

本製品を第三者に譲渡または売却する場合は、本製品に添付されている全てのものを譲渡（売却）してください。また、本書を紛失された場合は、販売店にご連絡ください。

保証について

本製品には「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認の上、大切に保管してください。保証期間内に万一故障した場合は、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、弊社営業担当または代理店にご相談ください。詳しくは、保証書をご覧ください。

廃棄について

本製品を廃棄する場合は、各自治体の廃棄方法に従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。

電波障害自主規制について

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

はじめに

このたびは、N8180-81 SmartUPS 用 SNMP カード（Network Management Card）をお買い求めいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、本製品を正しく使用するための取り扱いや接続方法などを説明したものです。

本製品をご使用になる前に必ずお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。

本書は、必要なときにすぐに参照できるようお手元に大切に保管してください。本製品をご利用される皆様に広くご活用いただければ幸いです。

日本電気株式会社

本書について




本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全性を含めてご利用ください。

本書は常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windows または Linux のオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に 3 種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

 重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。
 チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示します。
 ヒント	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の構成について

本書は5つの章から構成されています。それぞれの章では次のような説明が記載されています。



「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」をお読みください。「使用上のご注意」では、本製品を安全に、正しくお使いになるために大切な注意事項が記載されています。

第1章 各部名称と説明

本製品の各部名称について説明しています。

第2章 セットアップ

本製品のセットアップ方法について説明しています。

第3章 交換時の注意

本製品を交換する場合の各種設定について説明しています。

第4章 廃棄について

本製品の廃棄方法について説明しています。

第5章 付録

本書の購入について

製本された本製品の説明書が必要な場合は、最寄りの販売店またはお買い求めの販売店にご相談ください。ユーザズガイドは、本製品のホームページからダウンロードすることができます。

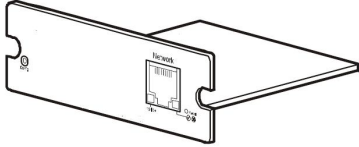
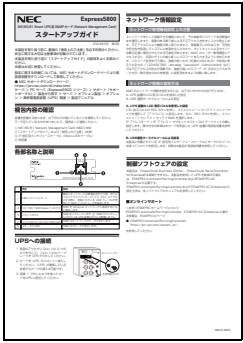
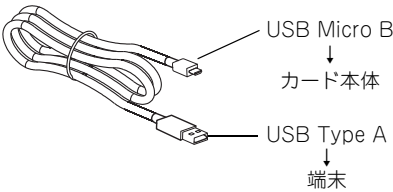
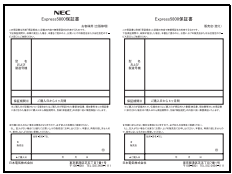
● NEC サポートダウンロードページ

<https://jpn.nec.com/dl/index.html>

サーバ > PC サーバ (Express5800 シリーズ) > サポート (サポートポータル) > 製品から探す >
サーバ > オプション製品 > オプション > 無停電電源装置 (UPS) 関連 > 製品マニュアル

梱包内容の確認

装置を設置する前にまず、以下のものが揃っていることを確認してください。
万一不足しているものがありましたら、販売店へご連絡ください。

梱包内容			
①		N8180-81 Network Management Card 本体	1 台
②		「スタートアップガイド」および 「使用上のご注意」	1 枚
③		IP 設定用インタフェースケーブル (Micro USB ケーブル)	1 本
④		保証書	1 包

目次

使用上のご注意（必ずお読みください）.....	III
安全にかかわる表示について.....	III
本書と警告ラベルで使用する記号とその内容	IV
安全上のご注意.....	V
全般的な注意事項.....	V
譲渡または売却時の注意について	VI
保証について.....	VI
廃棄について.....	VI
電波障害自主規制について	VI
はじめに	VII
本書について	VIII
本文中の記号について	VIII
本書の構成について	IX
本書の購入について	IX
梱包内容の確認.....	X

1 各部名称と説明

各部名称と説明	12
---------------	----

2 セットアップ

UPS への接続.....	14
Network Management Card のネットワーク情報設定.....	15
A. UPS 装置の LCD 表示パネルを使用した設定.....	15
B. USB 通信ターミナルツールによる設定	16
制御ソフトウェアの設定.....	18

3 交換時の注意

Network Management Card を交換する場合	19
---------------------------------------	----

4 廃棄について

廃棄について	20
--------------	----

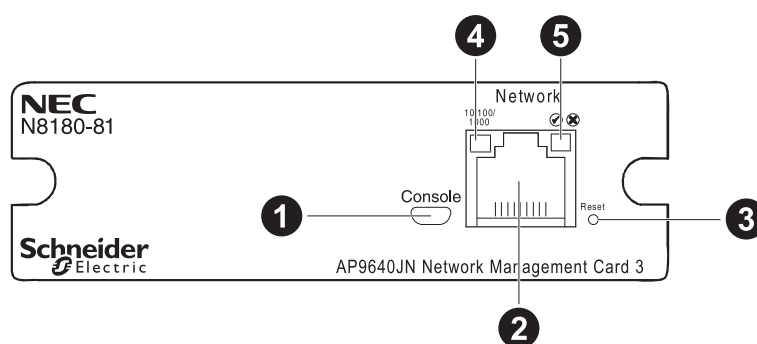
5 付録

故障かな？と思ったときは.....	21
オンラインサポート	23
＜参考＞ ESMPRO ホームページについて	23
NEC フィールディング保守拠点.....	24

1

各部名称と説明

各部名称と説明



項番	名称	機能
①	USB コンソールポート	最初にネットワークの環境設定を行う時点で、またはコマンドラインインターフェイス（CLI）にアクセスする際に、同梱されている USB ケーブルを使用して Network Management Card とコンピュータを接続します。
②	10/100/1000 Base-T コネクタ	Network Management Card を Ethernet ネットワークに接続するために使用します。
③	リセットボタン	Network Management Card をリスタートします。 注：Network Management Card がインストールされている UPS 装置の出力には影響しません。
④	リンク RX/TX (10/100/1000) LED	<p>消灯： 本製品に電力が供給されていない、本製品にケーブルが接続されていない、もしくは本製品をネットワークに接続するルーター、ハブなどのデバイスがオフになっているか、それが正しく動作していない状態。</p> <p>緑の点灯： 本製品が 1000M 通信しているネットワークに接続されている状態。</p> <p>緑の点滅： 本製品が 1000M 通信のネットワークからデータパケットを受信している状態。</p> <p>橙の点灯： 本製品が 10-100M 通信しているネットワークに接続されている状態。</p> <p>橙の点滅： 本製品が 10-100M 通信ネットワークからデータパケットを受信している状態。</p>

項番	名称	機能
⑤	ステータス LED	<p>消灯： 本製品に電力が供給されていないか、正常に動作していない状態。</p> <p>緑の点灯： 本製品に正しいネットワーク値が設定されている状態。</p> <p>緑の点滅： 本製品にネットワーク値が正しく設定されていない状態。</p> <p>橙の点滅 (約 2 秒間隔)： 本製品が BOOTP リクエスト (※) 中である状態。</p> <p>橙の点灯： 本製品がハードウェアトラブル状態。</p> <p>緑と橙がゆっくり点滅： 本製品が DHCP リクエスト (※) を作成中である状態。</p> <p>緑と橙がすばやく点滅： 本製品が起動中である状態。</p>

※ BOOTP リクエスト：BOOTP サーバに対しネットワーク値の設定を要求すること

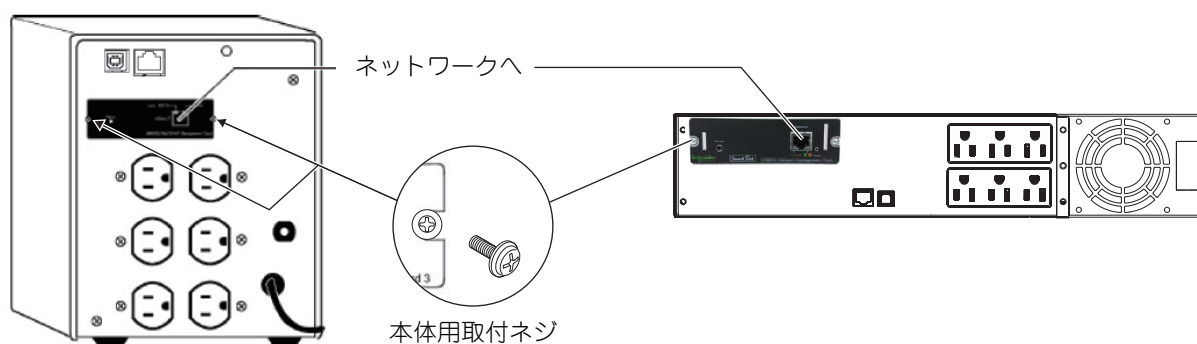
※ DHCP リクエスト：DHCP サーバに対しネットワーク値の設定を要求すること

2

セットアップ

UPS への接続

1. 背面のアクセサリスロットの2つのネジを外して、スロットのカバープレートを UPS から外してください。
2. カードを UPS のスロットへ挿入してください。(UPS が運転している状態でもカードの挿入は可能です。
3. 項番2 で外したネジを使ってカードを UPS に固定してください。
4. ネットワークコネクタにネットワークケーブルを接続してください。



Network Management Card のネットワーク情報設定

ネットワーク情報設定上の注意

ネットワークを介して制御できる機器において、その制御用パスワードを初期値のまま運用しますと、悪意のある第三者による不正アクセスを許すリスクが発生します。不正アクセスにより機器が乗っ取られますと、情報漏えいのみならず、可用性や完全性を阻害してシステムに被害を生じさせたり、ポットネットによるサイバー攻撃の足場に悪用されたりする可能性があります。

Network Management Card のユーザー管理画面にアクセスすると、初回ログインの後に新しいパスワードを入力するように求められます。パスワード変更を行う際に、強度の低いもの（桁数の少ないもの）や容易に考えられるもの（"123456789","abcdefg","password","Administrator" など）では不正アクセスの防止が困難です。強度の強いパスワード（X 文字以上で大文字 / 小文字 / 数字混在のものを推奨）に変更してください。

初回のパスワード変更以降、パスワードの変更は以下の手順で行ってください。

1. Web ブラウザで Network Management Card にアクセスして、トップメニューの [設定] - [セキュリティ] - [ローカルユーザー] - [管理] をクリックし、ユーザー管理設定画面を開きます。
2. パスワードを変更したいユーザー名 (apc, device, readonly) をクリックして新しいパスワードを設定してください。
パスワードの最大文字数は半角 64 文字で、大文字と小文字は区別されます。

Network Management Card のネットワーク情報を設定するには、以下のいずれかの方法で行います。

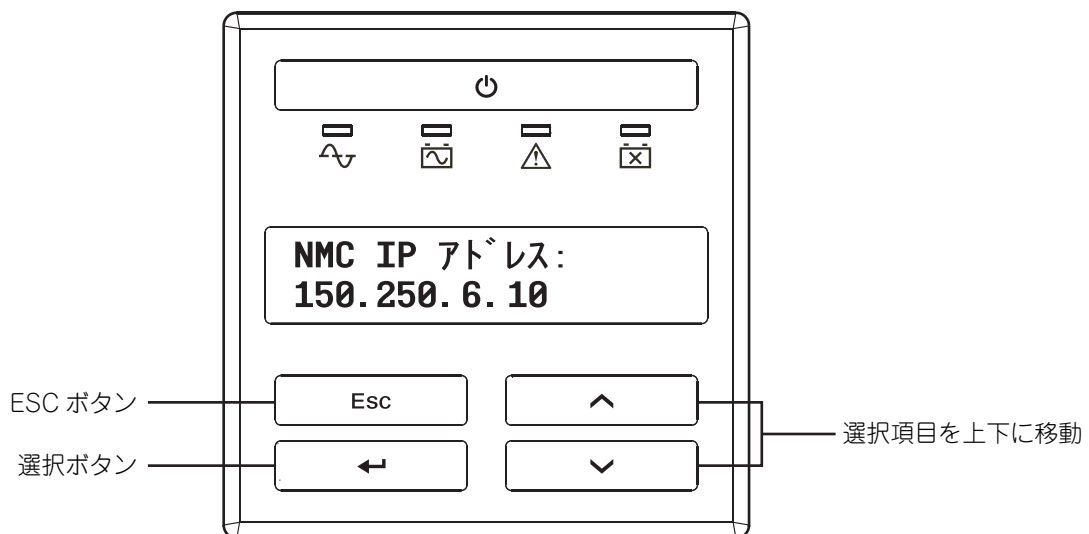
- A. UPS 装置の LCD 表示パネルを使用した設定
- B. USB 通信ターミナルツールによる設定

A. UPS 装置の LCD 表示パネルを使用した設定

LCD 表示パネルの ESC ボタンを押し、メインメニュー > セッテイ > メニュータイプを選択して、「アドバンス」に設定します。次に、ESC ボタンを押し、メインメニュー > セッテイ > セッテイ NMC を選択します。

IP アドレスモード > IP アドレス > サブネットマスク > Def ゲートウェイの順に設定します。操作方法の詳細は本カードを実装した UPS 装置の取扱説明書を参照してください。

例：UPS 装置（N8142-101）の LCD 表示パネル

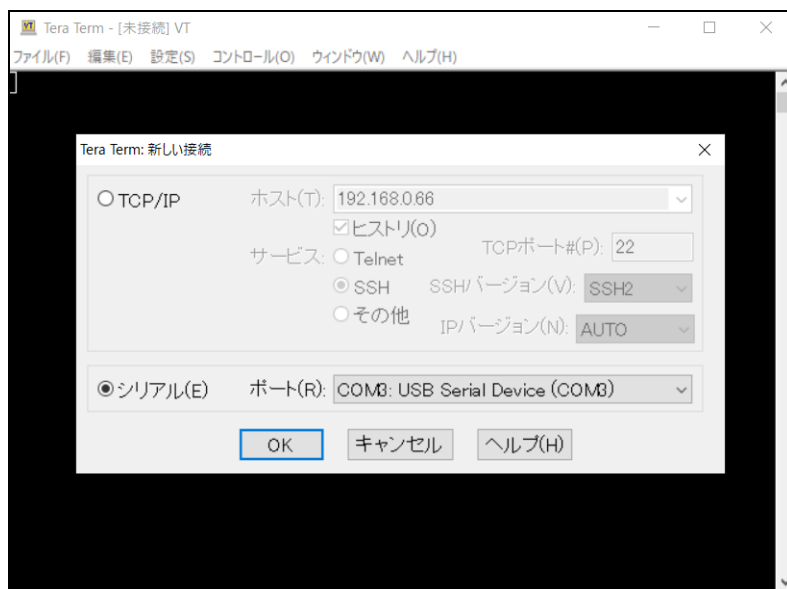


B. USB 通信ターミナルツールによる設定

本製品に同梱されている IP 設定用インターフェースケーブルとターミナルツールを使ってコマンドで設定します。

ターミナルツールで Network Management Card にアクセスするには、IP 設定用インターフェースケーブルで端末の USB ポートと Network Management Card にある USB コンソールポートに接続します。ここでは、Tera Term を使った設定設定手順を説明します。

1. Tera Term を起動し、[シリアル] からポート [USB Serial Device] を選択します（※COM の番号は環境により変わることがあります）。
2. [OK] をクリックします。



3. ログイン画面が表示されたら、
 - ① ユーザ名を入力して <Enter> キーを押してください。
 - ② パスワードを入力して <Enter> キーを押し、コマンドラインインターフェイスを表示させます。
※ ユーザ名、パスワード共にデフォルトは小文字の apc です。

User Name : apc
Password : ***

- ③ ログインします。
- ④ 初回ログインの後に新しいパスワードを入力するように求められます。強度の強いパスワードに変えてください。（前述の「ネットワーク管理機能設定上の注意」を参照してください。）

4. Network Management Card のコマンドラインインターフェイスにログオンすると、以下のような画面が表示されます。

```

-----
Name       : apc                               Date : 02/01/2020
Contact    : Unknown                           Time : 03:00:00
Location   : Unknown                           User  : Super User
Up Time    : 0 Days 0 Hours 10 Minutes          Stat  : P+ N4+ N6+ A+
-----
IPv4       : Enabled                           IPv6       : Enabled
Ping Response : Enabled
-----
HTTP        : Disabled                         HTTPS       : Enabled
FTP         : Disabled                         Telnet      : Disabled
SSH/SCP     : Enabled                         SNMPv1      : Disabled
SNMPv3      : Disabled                         Modbus TCP  : Disabled
BACnet/IP   : Disabled
-----
Super User  : Enabled                         RADIUS      : Disabled
Administrator : Disabled                     Device User  : Disabled
Read-Only User : Disabled                     Network-Only User : Disabled

Type ? for command listing
Use tcpip command for IP address(-i), subnet(-s), and gateway(-g)

apc>

```

- (1) 入力プロンプト (apc>) に対し、以下のコマンドを使用して IP アドレスの設定を行います。
- tcpip -i (IP アドレス) + "<ENTER>"
- たとえば、Network Management Card の IP アドレスを「150.250.6.10」に設定する場合は、以下のように入力します。
- tcpip -i 150.250.6.10 "<ENTER>"
- (2) 次に、入力プロンプト (apc>) に対し、以下のコマンドを使用してサブネットマスクの設定を行います。
- tcpip -s (サブネットマスク) + "<ENTER>"
- たとえば、サブネットマスクを「255.255.255.0」に設定する場合は、以下のように入力します。
- tcpip -s 255.255.255.0 "<ENTER>"
- (3) 次に、入力プロンプト (apc>) に対し、以下のコマンドを使用してデフォルトゲートウェイの設定を行います。
- tcpip -g (デフォルトゲートウェイ) + "<ENTER>"
- たとえば、デフォルトゲートウェイを「150.250.6.1」に設定する場合は、以下のように入力します。
- tcpip -g 150.250.6.1 "<ENTER>"



ループバックアドレス (127.0.0.1) をデフォルトゲートウェイアドレスとして指定しないでください。

これでネットワークの設定は完了です。

設定内容を確認するには、入力プロンプト (apc>) に対し、「tcpip」と入力し <ENTER> を押します。

5. Exit と入力しログアウトします。



3 項目については、必ず (0.0.0.0) 以外の数値を設定してください。
(0.0.0.0) は正常に動作しません。

制御ソフトウェアの設定

本製品は、PowerChute Business Edition、PowerChute Serial Shutdown for Business では制御できません。本製品を使用して UPS を制御する場合は、ESMPRO/AutomaticRunningController および ESMPRO/AC Enterprise が必要です。

ESMPRO/AutomaticRunningController および ESMPRO/AC Enterprise の 設定方法は、各ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

3

交換時の注意

Network Management Card を交換する場合

Network Management Card を交換する場合、交換後、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの設定を交換前のカードの設定に合わせて、再度設定する必要があります。

設定方法については、「セットアップ (p.14)」を参照してください。交換前のカードの設定値は以下の方法で確認できます。(UPS が運転している状態でもカードの交換は可能です。)

- **IP アドレスの設定値**

IP アドレスの設定値は、UPS 制御ソフトウェアに設定されている UPS 用のアドレス設定で確認することができます。詳しくは UPS 制御ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

- **サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスの設定値**

サブネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスの設定値は、UPS 制御ソフトウェアを運用しているサーバのネットワークの設定で確認することができます。詳しくはサーバのマニュアルを参照してください。

4

廃棄について

廃棄について

本製品を廃棄する場合は、産業廃棄物として、法令、地方自治体の条例または規則にしたがって処理してください。

5

付録

故障かな？と思ったときは

この章では、本製品使用中のトラブルについて対処方法を説明しています。

本製品を使用中に「故障かな？」と思われる症状が起きたら、まず、以下の項目を参考にしてチェックしてください。該当する項目がない場合や「対策」を行っても症状が改善されない場合は、保守員または販売店へご連絡ください。

トラブルと原因	対策
ターミナルで本製品からの応答がない	
<ul style="list-style-type: none"> ● ステータス LED が消灯 → 本製品に電力が供給されていません。 	<ul style="list-style-type: none"> ● UPS の電源ケーブルが UPS とコンセントに完全に接続されているか確認してください。 ● UPSの商用電源に電力が供給されているか確認してください。 ● 本製品がUPSに正しく挿入されているか確認してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● UPS とターミナルがケーブル接続されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● UPSにインタフェースケーブルを接続してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● ターミナルが通信状態になっていない 	<ul style="list-style-type: none"> ● ターミナルを通信状態にしてください。
<ul style="list-style-type: none"> ● UPS とターミナルの接続ケーブルが付属のインタフェースケーブル以外のケーブルを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 付属のインタフェースケーブルを使用してください。
ターミナルや Web ブラウザで通信が異常	
<ul style="list-style-type: none"> ● ターミナル画面や Web ブラウザが正常に表示されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体のリセットボタン（「各部名称と説明」P.12 参照）を押して、本製品をリスタートしてください。

トラブルと原因	対策
本製品が ping に応答しない	
<ul style="list-style-type: none"> ● リンク RX/TX LED が消灯 <ul style="list-style-type: none"> → ネットワークケーブルが接続されていない。 → ネットワークケーブルの不良。 → ネットワークに接続するハブ等の接続装置がオフになっているか、正しく動作していない。 → 10BASE-T/100BASE-T/1000BASE-T 以外のネットワーク機器と接続している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ネットワークケーブルを本製品に接続してください。 ● 正常なネットワークケーブルを使用してください。 ● ハブ等の接続装置の動作を確認してください。 ● ハブ等の接続装置の速度が自動認識設定になっている場合は、10BASE-T/100BASE-T/1000BASE-T の設定を試してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● ステータス LED が橙の点滅 <ul style="list-style-type: none"> → 本製品と UPS の接続が不良です。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品がUPSに正しく挿入されているか確認してください。
<ul style="list-style-type: none"> ● ステータス LED がゆっくりした（約 2 秒間隔）橙の点滅 <ul style="list-style-type: none"> → 本製品のネットワーク値が未設定であることを示しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品にネットワーク値を設定してください。

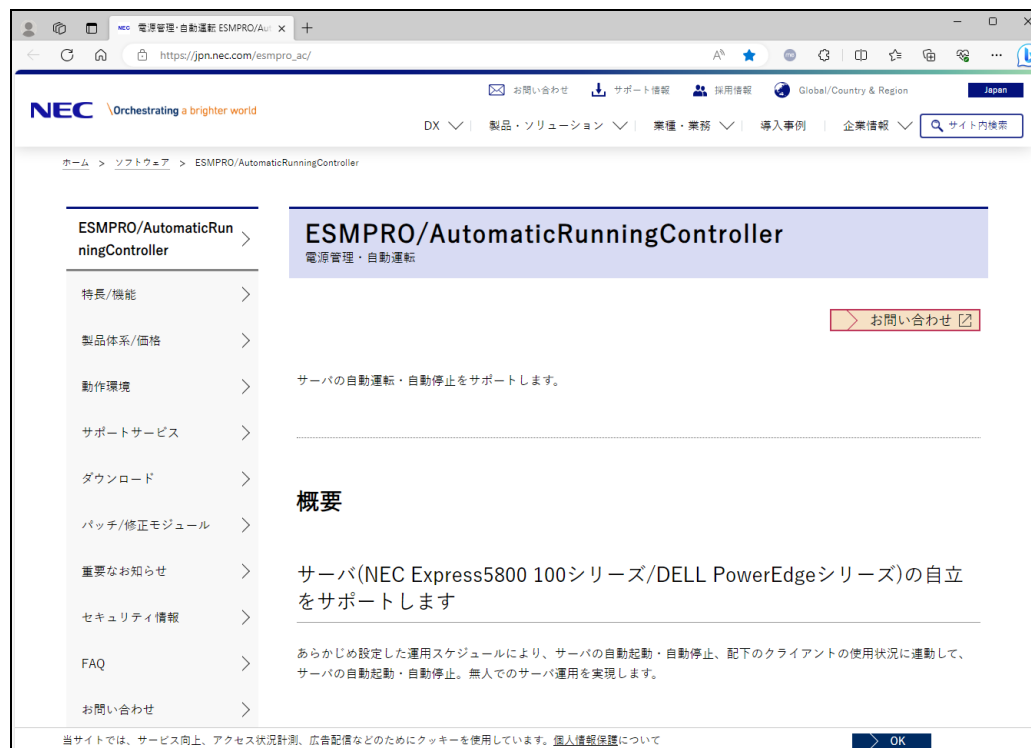
オンラインサポート

< 参考 > ESMPRO ホームページについて

ESMPRO/AutomaticRunningController、ESMPRO/AC Enterprise に関する情報は以下のページを参照してください。

- ESMPRO/AutomaticRunningController:

https://jpn.nec.com/esmpro_ac/



NEC フィールディング保守拠点

NEC Express 5800 シリーズ、および関連製品のアフターサービスは、お買い上げの弊社販売店、最寄りの弊社または NEC フィールディング株式会社までお問い合わせください。

（受付時間：AM 9:00 ～ PM 5:00 土曜日、日曜日、祝祭日を除く）

次のホームページにも最新の情報が記載されています。

<https://www.fielding.co.jp/>

このほか、弊社販売店のサービス網がございます。お買い上げの販売店にお問い合わせください。

**SmartUPS 用 SNMP カード
(Network Management Card)**

(N8180-81)

取扱説明書

2024 年 5 月 第 3 版

日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

©NEC Corporation 2024

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。